

## 平成30年度当初予算について

## 1 基本方針

## ＜財政状況＞

- ・ 市税においては、市民税は前年度の水準を確保するものの、固定資産税は評価替え等により減収となることから、総額では減収が見込まれる。地方交付税は、合併算定替えの段階的縮減等により落ち込むものとしており、本市における一般財源の総額は、前年度に比べ1.5%程度の減少が見込まれる。
- ・ 社会保障関係経費や公債費は依然として高水準であり、近年の大型事業による市債および臨時財政対策債の継続発行に伴い、後年度に公債費の増加が危惧されることから、計画的に繰上償還を進め、中長期的な財政負担の軽減を図るものの、企業会計への繰出金や施設の維持管理経費も増加することから厳しい財政状況にある。

## ＜編成方針＞

## 1) 第2次総合振興計画の始動予算

- ⇒ 本年度からスタートする『第2次総合振興計画基本構想』に掲げる「まちづくりの基本方針」の計画的な進捗を図る第一歩となる予算と位置づける。
- ⇒ 前期基本計画・実施計画の策定を見据え、市民の皆さんの期待の高い施策や喫緊の課題に的確に対応すべく事業費の一部を盛り込む。

## 2) 『骨格予算』による編成

- ⇒ 平成30年度当初予算は、4月に市長の任期が満了することを踏まえ、義務的経費や継続的な事業に要する経費を中心に計上する。ただし、政策的経費であっても、年度当初から執行しなければ市民生活に影響がある事業は、新規事業も含め当初予算に計上することとする。
- ⇒ 新たな政策的経費や新規事業、既存事業の中で新たな領域へ拡充する経費については、選挙によって市民の負託を受けた市長の政策判断を踏まえた補正予算、いわゆる「肉付け予算」で編成する。

## 3) 『市民生活ステップアップ 新ステージ始動予算』の推進

- ⇒ 何を重視し、どこに予算を投入するのか、施策の厳正な選択と財源の重点的かつ効率的配分により、若年層を中心にトータルで評価されるまちづくりを目指す。
- ⇒ 特に「1. 黒部に住み、働きやすい環境づくり」、「2. 若者が暮らし、結ばれ、産み育てる豊かさの実感」、「3. 公共交通を軸としたコンパクトな都市構造の形成」、「4. 災害に強く、安全安心な社会」といった住み良さをワンランク向上させる未来創造型施策に力点を置く。

## 4) 行財政改革の推進

- ⇒ H33年度の地方交付税合併算定替終了後を見据え、市勢発展のための投資と財政健全化との両立を図り、持続可能な財政構造を構築する。

## 2 予算の規模

- ・一般会計 206億8,200万円（前年度比 +5億 200万円、+ 2.5%）

### [主な増減要因]

（増）桜井・宇奈月統合中学校屋内運動場・武道場建設事業（H29～31継続事業）

H29：3億2,904万円 → H30：12億7,378万円（+9億4,474万円）

（増）鷹施・高志野統合中学校校舎改修事業（H30～31継続事業）

H29：6,495万円 → H30：3億9,449万円（+3億2,954万円）

（減）音沢交流センター建設事業

H29：1億9,612万円 → H30：0（皆減）

（減）桜井中学校校舎建設事業（H27～29継続事業）

H29：8,900万円 → H30：0（皆減）

（減）宇奈月消防庁舎整備事業（H29～30継続事業）

H29：2億8,480万円 → H30：2億1,510万円（▲6,970万円）

- ・特別会計 58億 199万0千円（前年度比 ▲ 7億9,559万9千円、▲12.1%）

（国 保事業 前年度比 ▲ 5億9,558万7千円、▲14.2%）

（地域開発事業 前年度比 ▲ 2億5,351万5千円、▲36.8%）

- ・企業会計 174億3,280万8千円（前年度比 ▲ 3,392万3千円、▲ 0.2%）

- 
- ・全 会 計 439億1,679万8千円（前年度比 ▲ 3億2,752万2千円、▲ 0.7%）

## 3 一般会計予算歳入の概要

### (1) 市税収入

78億8,500万円（前年度比 ▲1億 905万5千円、▲1.4%）

#### [主な内訳]

- ・個人市民税 23億 776万8千円（前年度比 + 557万1千円、+ 0.2%）
- ・法人市民税 3億4,942万6千円（前年度比 + 266万5千円、+ 0.8%）
- ・固定資産税 47億6,805万2千円（前年度比 ▲1億 556万0千円、▲ 2.2%）
- ・市たばこ税 2億9,250万2千円（前年度比 ▲ 1,130万1千円、▲ 3.7%）

### (2) 地方消費税交付金

8億 900万円（前年度比 + 5,500万円、+ 7.3%）

### (3) 普通交付税

29億6,000万円（前年度比 ▲1億4,000万円、▲ 4.5%）

（【参考】（普通交付税+臨時財政対策債）

H29：39.23億円 → H30：37.20億円、▲2.03億、▲5.2%）

(4) 一般財源(税+譲与税+交付金+地方交付税+繰越金+臨時財政対策債)

136億7,200万円(前年度比 ▲2億 305万5千円、▲1.5%)

(5) 市 債

- ① 公共事業等に伴う新規の市債発行額 16億4,990万円
- ② 臨時財政対策債 7億6,000万円
- 合計(①+②) 24億 990万円

<市債残高の推移(一般会計)>

- ・平成28年度末 302億3,302万1千円
- ・平成29年度末 311億3,869万9千円(見込)
- ・平成30年度末 313億1,479万5千円(見込)

【参考】30年度末残高の内訳(見込)

区 分	残 高	前年度比	伸び率
社会資本整備等に係る分	194億 303万7千円	+4億2,350万6千円	+ 2.2%
臨時財政対策債及び減税補てん債等分	107億 107万8千円	+2,812万0千円	+ 0.3%
合併特例債を活用した基金造成に係る分(別枠)	6億1,068万0千円	▲1億2,553万0千円	▲17.1%
第三セクター等改革推進債分	6億 0万0千円	▲1億5,000万0千円	▲20.0%
一般会計の合計額	313億1,479万5千円	+1億7,609万6千円	+ 0.6%

【参考】実質公債費比率(3か年平均)

H27年度(H26決算後) /15.9 H28年度(H27決算後)/14.8 H29年度(H28決算後)/13.4  
H30年度(H29決算後見込)/12.6

(6) その他

- ・ 国県支出金 31億4,401万8千円(前年度比 +1億1,264万7千円)
- ・ 繰入金 11億3,602万5千円(前年度比 +2億4,235万2千円)
  - うち 財政調整基金繰入金 3億 5,000万円(前年度比 ▲ 5,000万円)
  - 減債基金繰入金 2億円(前年度比 +1億5,000万円)
  - 学校建設基金繰入金 2億 5,940万円(前年度比 +1億1,240万円)
  - 合併地域振興基金繰入金 1億 6,300万円(前年度比 + 3,300万円)

(【参考】財政調整基金29年度末残高見込み 15億1,719万円)

4 歳出 主な事業

別紙 報道発表時は資料2、全協説明時は資料3

「平成30年度歳出 主な事業」参照

5 『市民生活ステップアップ 新ステージ始動予算』の重点化

◎:新規事業 ○:拡充事業

重点テーマ	キーワード	区分	事業名	事業費(千円)
1 黒部に住み、 働きやすい環境づくり	雇用、 UIJターン就業	○	就職定住促進事業費	3,819
		○	インターンシップ支援補助金	1,600
		◎	中小企業退職金共済制度加入助成事業費	1,000

重点テーマ	キーワード	区分	事業名	事業費 (千円)	
(黒部に住み、 働きやすい環境づくり)	移住・定住		○ 地域おこし協力隊事業費	8,001	
			くろべで住もう移住定住サポート協議会補助金	3,511	
			住定夢の館運営委託費	300	
			新幹線通勤・通学支援補助金	4,120	
			市分譲宅地取得支援補助金	1,524	
2 若者が暮らし、結ばれ、 産み育てる豊かさの実感	若年層	◎	生活困窮世帯等無料学習支援事業費	164	
	結婚前		○ 結婚支援プロジェクト事業費	1,816	
	子育て世代			三世代ハッピーホームサポート事業費	17,200
			○	産後ケア事業費	935
		◎		産婦健康診査費	3,200
	ひとり親家庭	◎		ひとり親家庭等無料学習支援事業費	820
		◎		ひとり親家庭子育てサポート事業利用料助成金	912
3 公共交通を軸とした コンパクトな都市構造の形成	移動手段の充実		高齢者運転免許証自主返納支援事業費	4,876	
			高齢者ふれあい福祉事業費	8,992	
			○ 交通まちづくり創生事業補助金	23,000	
			○ 公共交通戦略推進協議会補助金	25,820	
		◎		池尻線バス路線運行補助金	3,471
	都市・居住機能の誘導		○	住宅取得支援補助金 (居住誘導区域加算含む)	14,000
		◎	○	空家情報バンク推進事業費 (居住誘導区域加算含む)	10,150
		◎		創業・事業承継促進事業補助金	1,350
	◎		空き店舗情報バンク整備事業補助金	250	
4 災害に強く、安全安心な社会	地域力		○ 安全なまちづくりセンター運営補助金	554	
		◎		浦山地区安全なまちづくり推進協議会補助金	1,000
	自助・互助・共助・公助	◎		福祉避難所物資備蓄費	116
	ストックマネジメント	◎		石田漁港海岸長寿命化計画策定委託費	7,200
			○	区画線補修工事費	10,000
				道路ストック総点検(橋梁・舗装)委託費	43,000
			道路ストック橋梁修繕工事費	5,000	

## 6 行財政改革への取組

- ・ 行政改革大綱改訂を踏まえた「働き方改革」等の推進
- ・ 「財政運営指針」に基づく財務規律の堅持

【財政の弾力性を高める財政構造の見直し <抑える>】

→ 特別会計、企業会計繰出金の抑制、未利用財産の活用、受益者負担の適正化

【将来負担を見据えた財政基盤強化 <備える>】

→ 基金による財源涵養、交付税措置のある市債の活用、長期債繰上償還の実施

【財務マネジメントの強化 <量る>】

→ 公共施設マネジメントの推進、  
地方公会計の統一的基準に基づく財務諸表の整備と効果的な活用

## 7 予算の概要

別紙 資料3 「当初予算の概要」参照